

2017年9月6日



九州しあわせ共創ラボ

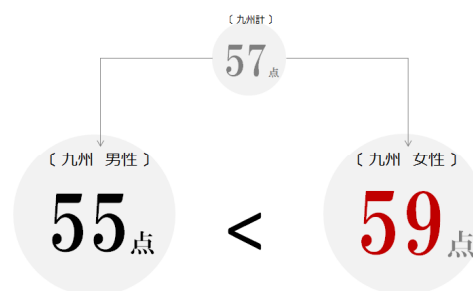
博報堂「九州しあわせ共創ラボ」調査レポート第三弾

九州女性の“しあわせ”実態調査

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）の九州支社を母体とする活動体「九州しあわせ共創ラボ」（略称以下「Qラボ」）が実施した調査分析結果レポート第三弾を発表します。今回は“九州男児”と称される九州の男性と、共に生活する”九州の女性”のしあわせについて調査分析いたしました。九州男児と九州女性、どのようにしあわせを感じているのか紐解いていきます。

前回調査*1で普段の生活の「しあわせ度」を聞いたところ、九州男性が55点、九州女性が59点で男性を上回っていました。

●普段の生活の「しあわせ度」



*1 2016年7月実施調査：

九州7県と東京都 n数：2,000 18～69歳男女。

質問“あなたの「最近のしあわせ度」を50点を基準に100点満点でいうと、何点ぐらいですか”に対する回答平均値

人間関係は「しあわせな生活」に大きな影響があると言われて中、一般的に「亭主関白で頑固」というイメージの“九州男児”と付き合っていくのは簡単ではないと思われます。そのような中で、九州の女性のしあわせ点数は九州男性よりも高くなっています。九州の女性はどのようにしあわせな生活を送っているのでしょうか。そこには「しあわせに生きるための知恵」があるのではないのでしょうか。このような問題意識のもと、九州の夫婦・未婚カップルを対象に調査*2を実施しました。

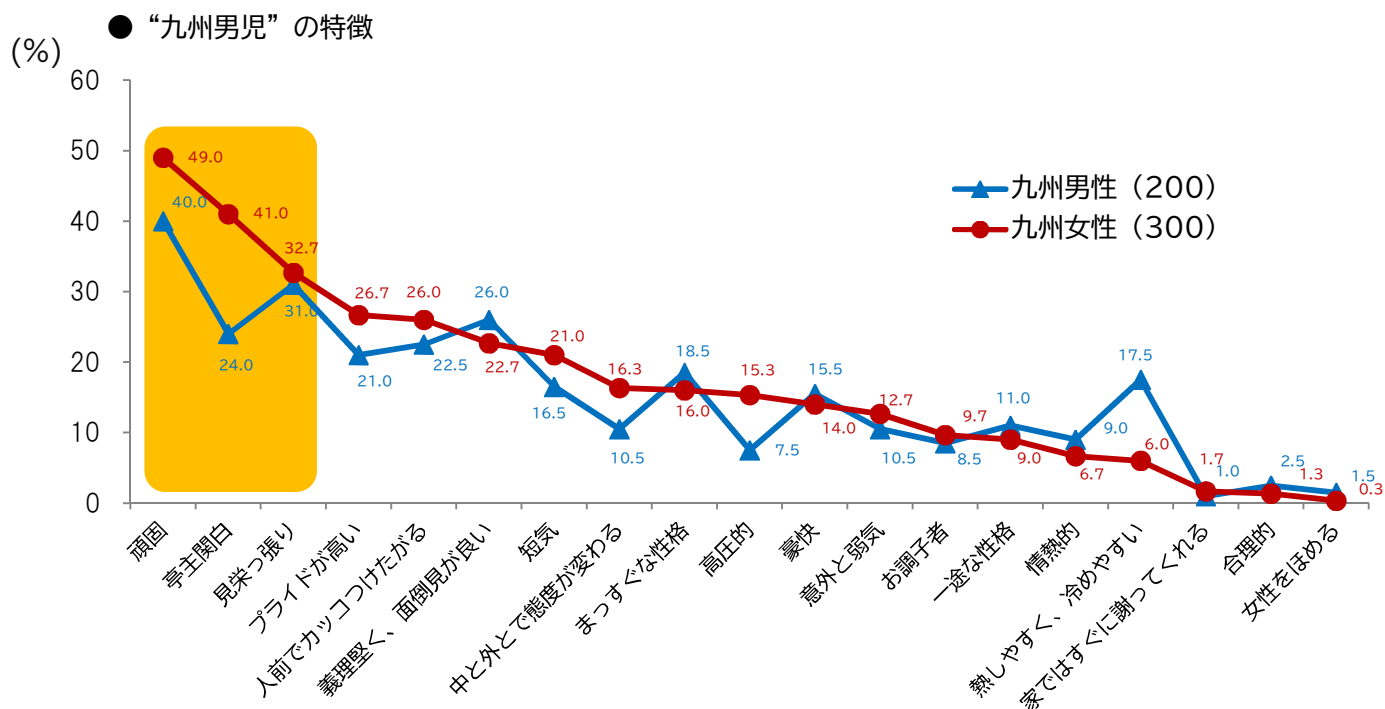
*2 2017年5月実施調査：九州7県 n=500 20～69歳男女。既婚者もしくは一年以上付き合っているパートナーがいる未婚者。

■調査結果「九州女性の“しあわせ”実態調査」のポイント

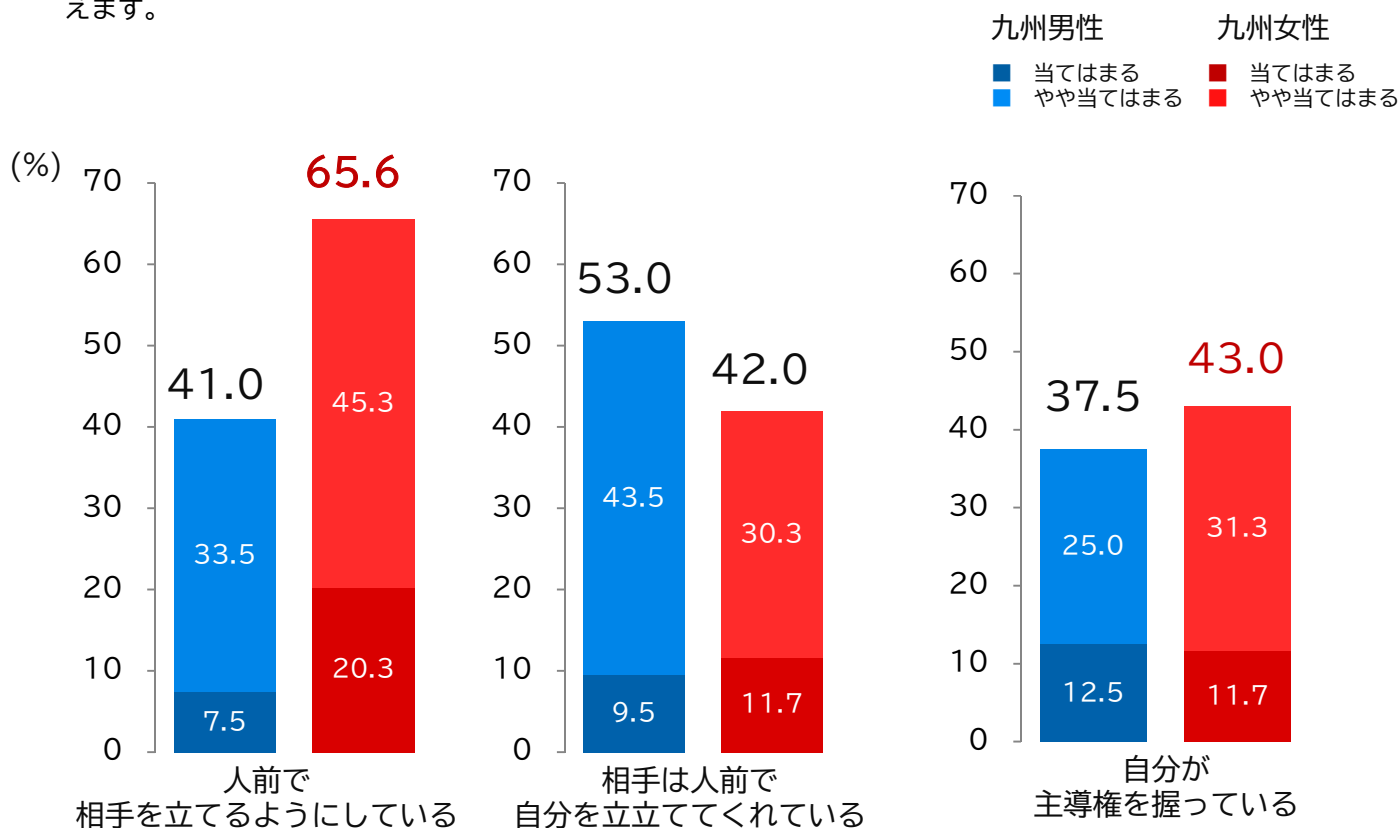
- 自他共に認める「頑固で亭主関白」な九州男性を、上手にコントロールしている
- パートナーから大切にされている実感が高い
- ポジティブな考え方、行動スタイルを持ち、「しあわせに暮らす」という強い意志がある
- 日々の生活の中で、言うべきことははっきり言い、継続的な関係改善に努めている
- 九州の女性は、日に日にしあわせを感じるようになっていく

自他共に認める「頑固で亭主関白」な九州男性を、上手にコントロールしている九州女性

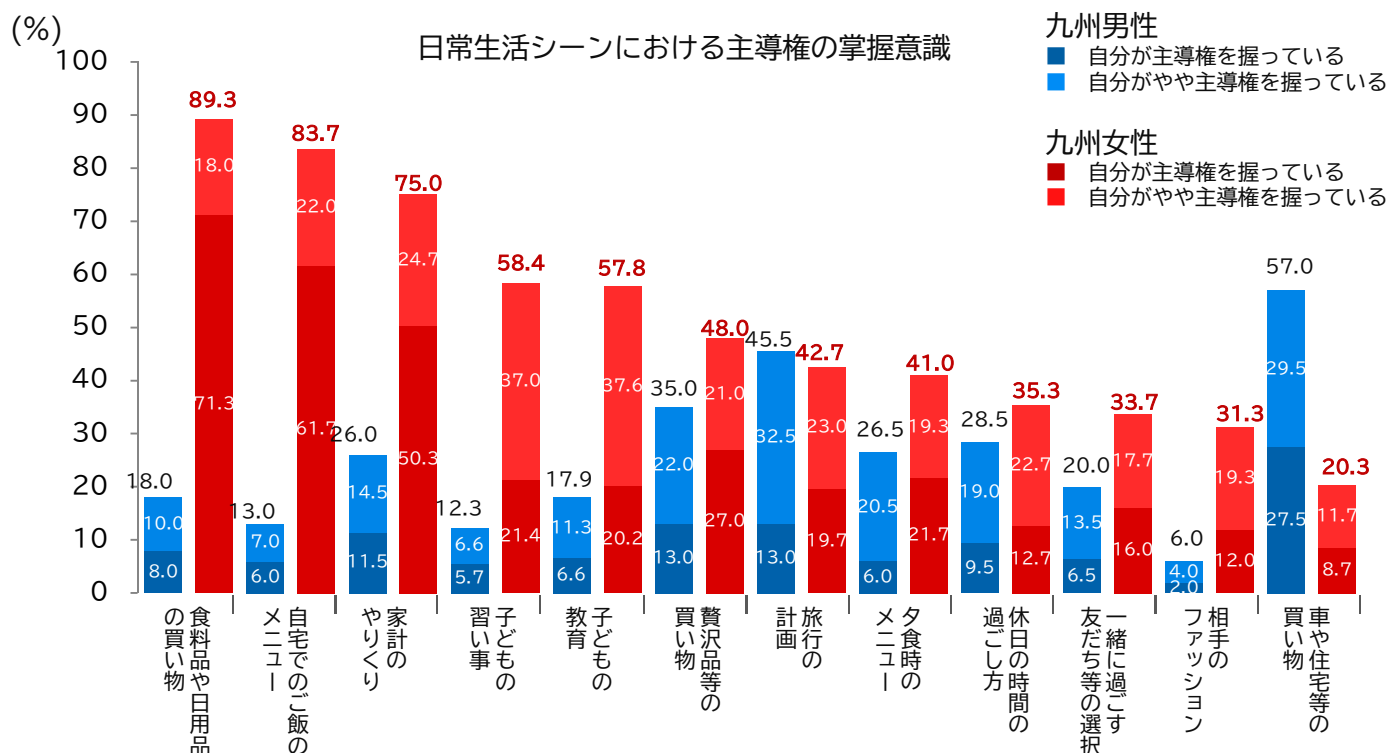
・“九州男児”の特徴を聞いたところ、九州の男性も女性も、共に「頑固」「亭主関白」そして「見栄っ張り」の項目が高い傾向にありました。意外だったのは女性だけでなく、男性も概ねイメージが合致していました。



・一方、九州女性は、“九州男児”を人前では立てるようにしているというポイントも高く、生活上の主導権争いにおいても、実権は女性が握っており、九州男性を上手にコントロールできていることが伺えます。

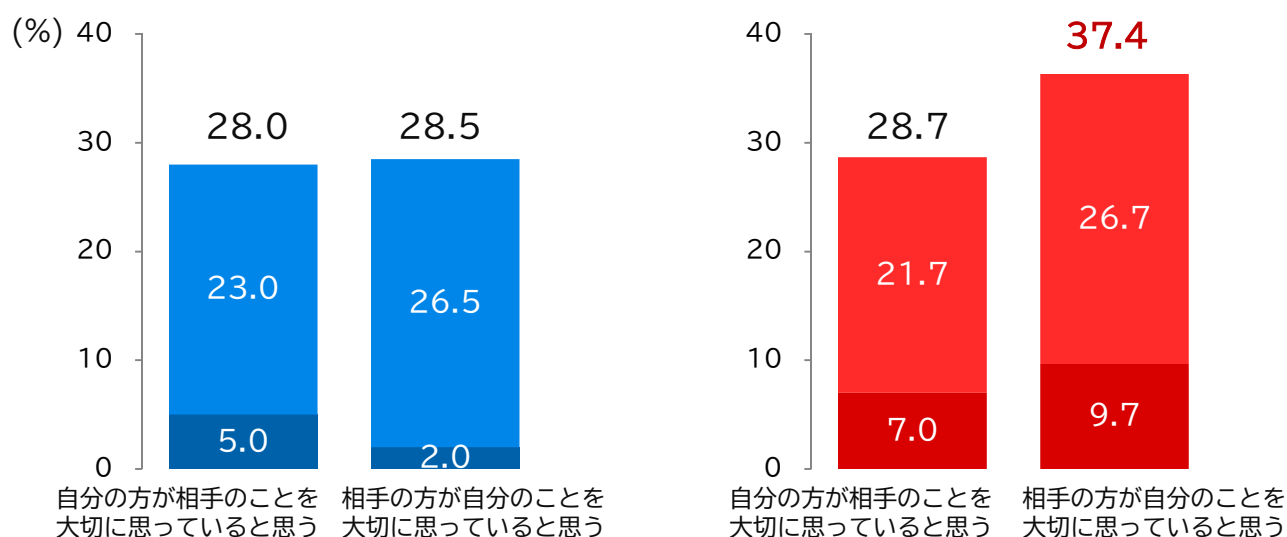


・前出の全体的な主導権争いでは、一見、平等のように見えますが（「自分が主導権を握っている」女性43.0%、男性37.5%）、実際の生活行動で見てみると、ほとんどの領域で女性が主導権を握っているようです。



「パートナーから大切に思われている」という実感が高い

・自分が相手のことを大切に思っているという割合は男女で同程度（女性28.7%、男性28.0%）ですが、九州の女性は、自分が思っている以上に、相手の方が自分のことを大切に思っていると感じているようです。



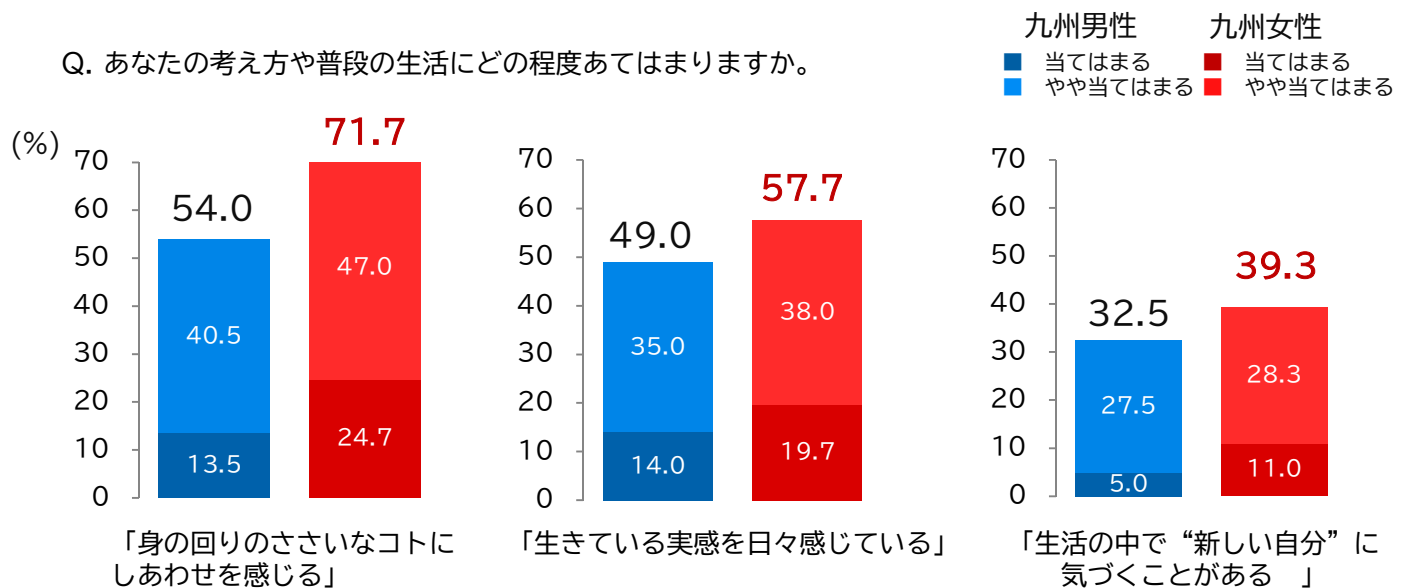
・また同時期に行ったインタビュー調査^{*3}でも「旦那さんはいい人。人生と一緒に送るパートナーとして最高。（宮崎県30代女性）」、「老後は旦那と世界中を旅してみたい。（佐賀県30代女性）」など、パートナーである九州男性に対するコメントが多数ありました。その根底には、九州の男性の優しさや家族への多大なる思いやりがあるのではないのでしょうか。

*3 2017年3月デプスインタビュー調査：九州4県 n=10 20～40代女性。「しあわせ点数が70点以上」の九州在住女性。

ポジティブな考え方、行動スタイルを持ち、「しあわせに暮らす」という強い意志がある

・九州女性は、毎日の生活にしあわせを感じ、しあわせを日々の生活に迎え入れる「考え方」と「行動スタイル」がありました。

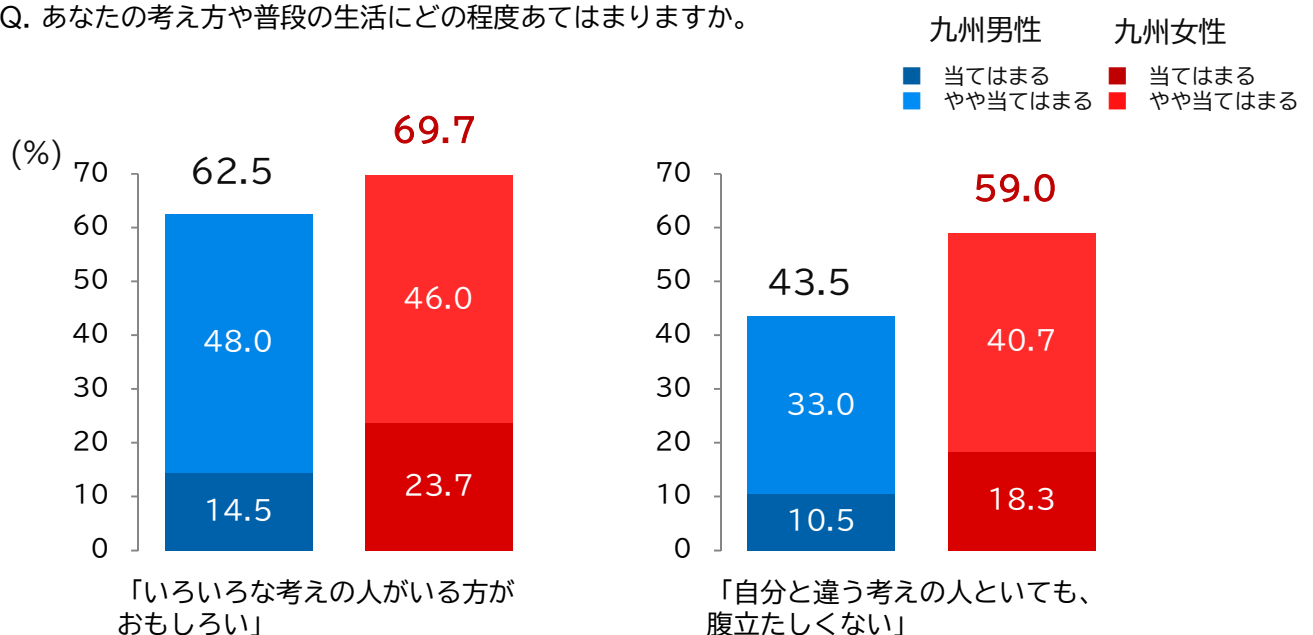
Q. あなたの考え方や普段の生活にどの程度あてはまりますか。



・インタビュー調査^{*3}でも「しあわせかどうかは自分次第。人と比べるものではなく、自分で決めるもの（福岡県30代女性）」「毎日自分が何を成し遂げたいか、何を目標として生きていきたいかを考えながら、生きる実感を得ている（福岡県20代女性）」、など、しあわせに暮らすためのマインドセットを九州の女性は見出していることが感じられました。

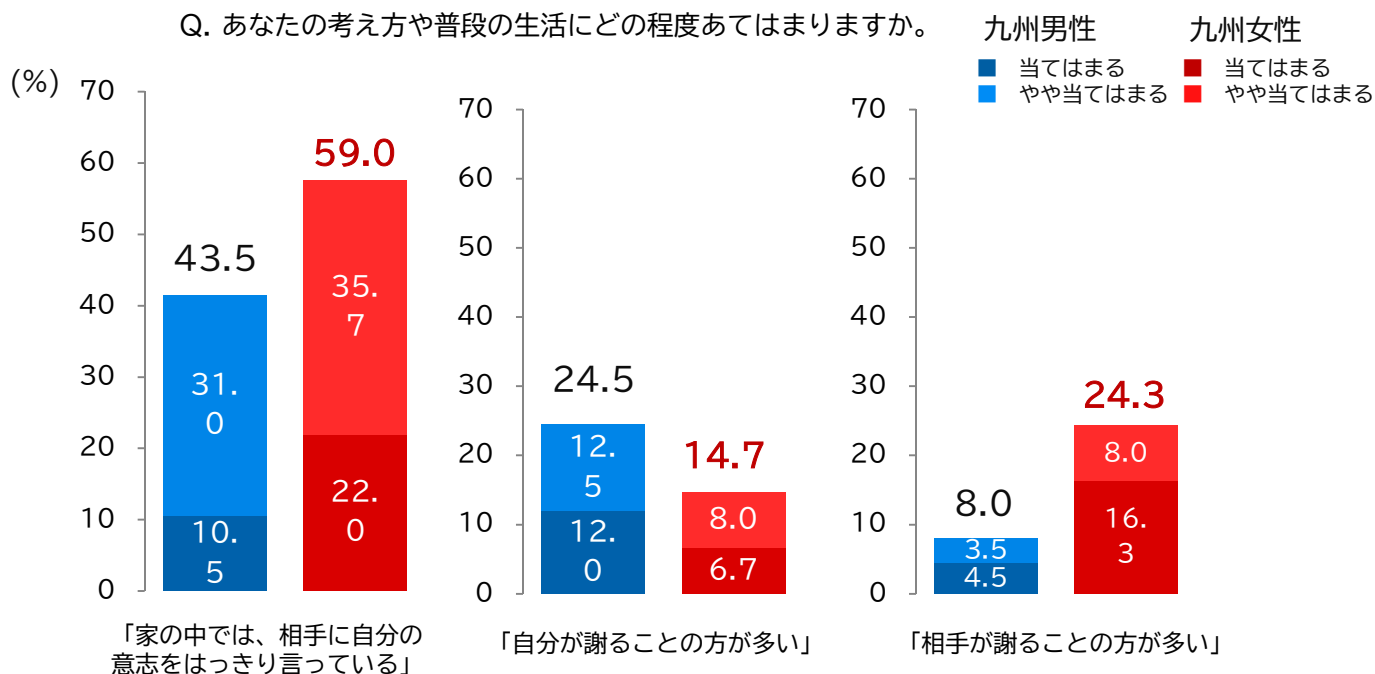
・また、自分と考え方が異なる人を許容し、更にその違いを楽しめるポジティブな考え方もうきぼりとなり、頑固で亭主関白な“九州男児”との考え方のギャップも許容していることが予想されます。

Q. あなたの考え方や普段の生活にどの程度あてはまりますか。



日々の生活の中で言うべきことははっきり言い、継続的な関係改善に努めている

家の中では、頑固で亭主関白な“九州男児”に自分の意志をはっきり言うのは、九州女性。喧嘩しても、謝るのは“九州男児”。しあわせに暮らすためにもパートナーとの関係改善に努めていることが伺えます。



九州の女性は、日に日にしあわせを感じるようになっている

・「10年前に比べて、今の方がしあわせを感じているか」という質問では、九州女性は九州男性よりも5ポイントも高くなりました。

「10年前に比べて、今の方がしあわせを感じている」



・インタビュー調査*3でも「昨日よりも今日、今日よりも明日の方がしあわせになれる、と感じながら生きています」(福岡県20代女性)などのコメントがあり、九州の女性は常によりしあわせになるための意志を持って生活していることが伺えます。

九州の女性は頑固で亭主関白と言われる九州の男性に比べて日々のしあわせの実感値が高い。それは日頃から自分は大切にされていると感じる割合が高いこともさることながら、九州の女性はポジティブな考え方や行動スタイルを持ち、かつ自身が主体性を持ってしあわせに暮らしていくという強い意志があるからと言えるからかもしれません。